



# 無事これ名馬

奥谷 千織  
OKUTANI Chiori

京都産業大学 法務研究科 教授  
専門分野：刑事法

## 略歴

平成7年立教大学大学院法学研究科民刑事法専攻博士課程前期課程修了(修士)、平成9年検事任官、平成16年法務省刑事局(～19年3月)、平成23年大阪大学大学院高等司法研究科特任教授、京都産業大学大学院法務研究科特任教員(教授)、平成26年4月検事退官、同月より京都産業大学大学院法務研究科教授

## 研究テーマ

刑法及び刑事訴訟法が専門分野です。私自身が実務家(検事)であったことから、刑事裁判において、争点となった法解釈や実務動向などを研究対象としています。

## 研究の道へ進んだきっかけ

大学院を出てからずっと検事をしていましたが、法科大学院へ実務家教員として派遣される機会を得たことが転機となりました。派遣されていた3年間で、物事をじっくりと考えることができる研究の道の良さを感じたのが転職のきっかけです。また、教育という面でも、学生の方々が、知識を吸収し成長していくのを間近に見られるという面白さを感じたのもありました。

## 研究者になってよかったと思うこと

自分の関心のままに、他者からの干渉なく自由に考えられるところでしょうか。実務家時代は、事件処理や公判準備に追われるという面がどうしてもありましたが、転職してからは、個々の問題についてじっくりと時間をかけて考え、調べることができるというのが良かったと思う一番の点です。

## 座右の銘

「無事これ名馬」

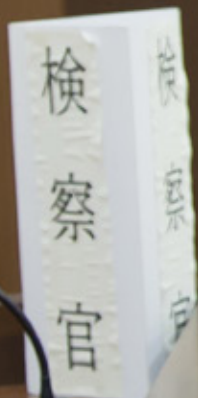
実務家であったことが影響していますが、やはり、肉体的・精神的にタフであり続けることが大事と考えています。

## 研究とプライベートの両立で工夫していること

2人目の子供が小さいので、なかなか両立が大変ですが、夫に協力してもらいながら何とかやっています。

## 未来の研究者へ一言

道は一本ではありません。回り道をしてそれがすべて糧となります。いろいろな体験をし、社会をみる目を養ってください。



## BEST SHOT

二人の子どもそれぞれのファーストシューズ

## 最近の主な論文・評釈

- 「加害目的損取罪における「目的」についての一考察」(H27年1月「産大法学」第48巻第1・2号)
- 「被害者への自殺の強制と殺人罪」(H26年1月「産大法学」第47巻第3・4号)